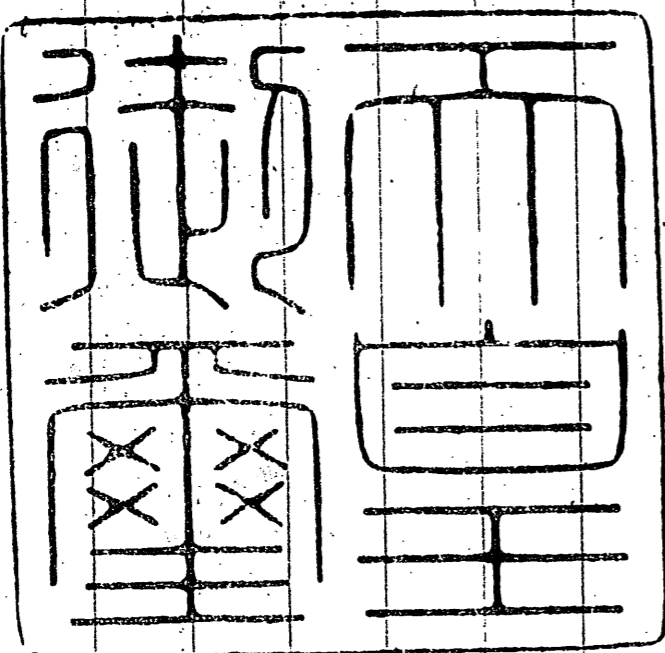


法律第十二號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル損害保險中
央會法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和二十年二月十三日

内閣總理大臣	小澤 國光
大藏大臣	石渡 忠太郎
運輸通信大臣	上田 米藏
内務大臣	大達 茂雄

法律第十二號

損害保險中央會法

第一章 總則

第一條 損害保險中央會ハ損害保險制度ノ適切ナル運営ニ資スルコトヲ目的トス

損害保險中央會ハ法人トス

第二條 損害保險中央會ハ主タル事務所ヲ東京都ニ置ク

損害保險中央會ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ必要ノ地ニ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得

第三條 損害保險中央會ハ損害保險會社其ノ他主務大臣ノ指定スル者ヲシテ業務ノ一部ヲ取

扱ハシムルコトヲ得

第四條 損害保險中央會ノ基金ハ五千萬圓トス

第五條 政府ハ五千萬圓ヲ損害保險中央會ニ出資スベシ

前項ノ出資ハ國債證券ヲ交付シテ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第六條 損害保險中央會ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定スベシ

一 目的

二 名稱

三 事務所ノ所在地

四 基金及資産ニ關スル事項

五 役員ニ關スル事項

六 業務及其ノ執行ニ關スル事項

七 經理ニ關スル事項

八 公告ノ方法

定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第七條 損害保險中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第八條 損害保險中央會ニハ所得税、法人税及營業税ヲ課セズ

都道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ損害保險中央會ノ事業ニ對シテハ地方税ヲ課スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ基キ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 損害保險中央會ニ付解散ヲ必要トスル事由發生シタル場合ニ於テ其ノ處置ニ關シテハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 損害保險中央會ニ非ザル者ハ損害保險中央會又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用フルコトヲ

得ズ

第十一條 民法第四十四條、第五十條、第五十四條及第五十七條並ニ非訟事件手續法第三十五條第一項ノ規定ハ損害保險中央會ニ之ヲ準用ス

第二章 職員

第十三條 損害保險中央會ニ役員トシテ理事長、副理事長各二人、理事三人以上、監事二人以上及評議員若干人ヲ置ク

第十三條 理事長ハ損害保險中央會ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副理事長ハ定款ノ定ムル所ニ依リ損害保險中央會ヲ代表シ理事長ヲ輔佐シテ損害保險中央會ノ業務ヲ掌理シ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ損害保險中央會ヲ代表シ理事長及副理事長ヲ輔佐シテ損害保

險中央會ノ業務ヲ掌理シ理事長及副理事長共ニ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長及

副理事長共ニ缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

監事ハ損害保險中央會ノ業務ヲ監査ス

評議員ハ損害保險中央會ノ業務ニ關スル重要事項ニ付理事長ノ諮問ニ應ジ又ハ理事長ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

理事長ハ主務大臣ノ定ムル事項ニ付テハ評議員ニ諮問スベシ

第十四條 理事長、監事及評議員ハ主務大臣之ヲ命ズ

副理事長及理事ハ理事長ノ推薦シタル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

理事長、副理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

第十五條 理事長、副理事長及理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ從タル事務所ノ業務ニ關シ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スル代理人ヲ選任スルコトヲ得

第十六條 理事長、副理事長及理事ハ他ノ職業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十七條 損害保険中央會ノ職員ハ之ヲ法令ニ依リ公務ニ従事スル職員ト看做ス

第三條又ハ第二十三條ノ場合ニ於テ當該業務ニ従事スル者(其ノ者ガ法人ナルトキハ當該業務ニ従事スル職員)ニ付亦前項ニ同ジ

第三章 業務

第十八條 本法ニ於テ戦争保険トハ戦時特殊損害保険法ニ依ル戦争保険、木船保険法ニ依ル戦争保険其ノ他戦争其ノ他ノ變亂ニ因ル襲撃、捕獲其ノ他ノ事故又ハ商慣習ニ於テ之ニ準ジテ取扱ハルル事故ノミヲ保險事故トスル海上保險ヲ謂フ

本法ニ於テ地震保險トハ戦時特殊損害保險法ニ依ル地震保險ヲ謂フ

本法ニ於テ普通保險トハ前二項ニ規定スルモノ以外ノ損害保險ヲ謂フ

第十九條 損害保険中央會ハ左ノ業務ヲ行フ

- 一 普通保險ノ再保險ニ關スル取引
- 二 戦争保險及地震保險ノ再保險ノ引受
- 三 損害保險ノ引受

四 前各號ノ業務ニ附帶スル業務

前項第三號ノ業務ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

損害保険中央會ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ第一項ノ業務ノ外損害保険中央會ノ目的達成上必要ナル業務ヲ行フコトヲ得

第二十條 損害保険中央會ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ外國保險會社ニ對シ出資ヲ爲シ又ハ外國保險會社ト損害保險ノ再保險ニ關スル取引ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 主務大臣ハ損害保険中央會ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ損害保険中央

會ニ對シ必要ナル業務ノ施行ヲ命ズルコトヲ得

第二十二條 損害保險中央會ハ損害保險會社ノ業務及財産ノ管理ヲ爲シ又ハ損害保險會社ヨリ保險契約ノ移轉ヲ受クルコトヲ得

業務及財産ノ管理竝ニ保險契約ノ移轉ニ關スル保險業法ノ規定ハ其ノ性質ノ許サザルモノヲ除クノ外前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 主務大臣ハ損害保險中央會ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ損害保險會社ニ對シ損害保險中央會ノ業務ノ一部ヲ取扱ハシメ其ノ他損害保險中央會ノ業務ニ協力セシムル爲必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 保險會社ニ付戰爭保險關係又ハ地震保險關係成立シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リテ當該保險會社ト損害保險中央會トノ間ニ當該戰爭保險又ハ地震保險ニ付再保險關係成立スルモノトス 保險會社戰時特殊損害保險法第五條ニ規定スル損害保

險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ同條ニ規定スル損害ヲ填補スベキ保險會社ノ責任ニ付亦同

シ 木船保險組合ニ付木船保險法ニ依ル保險關係成立シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リテ木船保險組合ト損害保險中央會トノ間ニ當該保險ニ付再保險關係成立スルモノトス

第二十五條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ保險會社ニ對シ其ノ引受ケタル普通保險ヲ損害保險中央會ノ再保險ニ付スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第二十六條 主務大臣ハ損害保險中央會ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ損害保險中央會ニ於テ再保險ヲ爲ス保險ニ付保險會社ニ對シ保險料其ノ他保險契約ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ保險ノ引受ヲ命ズルコトヲ得

第四章 經理

第二十七條 損害保險中央會ノ事業年度ハ四月ヨリ翌年三月迄トス

第二十八條 損害保險中央會ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ設立ノ時及毎事業年度ノ初ニ於テ
財産目録、貸借對照表及損益計算書ヲ作成シ主務大臣ノ承認ヲ受クベシ

第二十九條 損害保險中央會剩餘ヲ得タルトキハ其ノ剩餘金ヲ政府ニ納付スベシ
政府ハ損害保險中央會ニ對シ其ノ業務ニ因リテ受ケタル損失ヲ補償ス

前三項ノ剩餘及損失ヲ決定スル基準其ノ他剩餘金納付及損失補償ニ關シ必要ナル事項ハ勅
令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十條 前條ノ剩餘及損失並ニ其ノ額ハ損害保險審査會之ヲ決定ス

損害保險審査會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十一條 損害保險中央會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ再保險ニ依ル收入金額ヨリ再保險ニ依
ル支出金額ヲ控除シタル殘額ノ一部ヲ保險會社又ハ水船保險組合ニ交付スルコトヲ得

第五章 監督

第三十二條 損害保險中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス

第三十三條 損害保險中央會借入金ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三十四條 主務大臣ハ損害保險中央會ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ定款ノ變更其
ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三十五條 損害保險中央會ハ業務開始ノ際保險約款、業務ノ方法及財産利用ノ方法ヲ定メ
主務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

損害保險中央會ハ其ノ業務ニ屬スル保險ノ保險條件ノ中命令ヲ以テ定ムルモノニ付テハ主
務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第三十六條 主務大臣ハ損害保險中央會ニ對シ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、
當該官吏ヲシテ検査ヲ爲サシメ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ
得

第三十七條 主務大臣ハ損害保險中央會ニ於テ再保險ヲ爲ス保險ニ關シ必要アリト認ムルト

キハ保險會社又ハ木船保險組合ヲシテ其ノ業務ニ關スル報告ヲ爲サシムルコトヲ得

主務大臣ハ損害保險中央會ニ於テ再保險ヲ爲ス保險ニ關シ必要アリト認ムルトキハ當該官

吏ヲシテ當該保險ノ目的ノ所在ノ場所、保險會社ノ營業所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ當該物件

又ハ業務ノ狀況若ハ帳簿書類ヲ檢査セシムルコトヲ得

第三十八條 主務大臣ハ損害保險中央會監理官ヲ置キ損害保險中央會ノ業務ヲ監視セシ

ム

第三十九條 損害保險中央會監理官ハ何時ニテモ損害保險中央會ノ業務及財産ノ狀況ヲ檢査

スルコトヲ得

損害保險中央會監理官ハ何時ニテモ損害保險中央會ニ命ジ業務及財産ノ狀況ヲ報告セシム

ルコトヲ得

損害保險中央會監理官ハ損害保險中央會ノ諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第四十條 損害保險中央會ノ役員ノ行爲が法令、定款若ハ主務大臣ノ命令若ハ處分ニ違反シ

タルトキ若ハ公益ヲ害シタルトキ又ハ損害保險中央會ノ目的達成上特ニ必要アリト認ムル

トキハ主務大臣ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第六章 罰則

第四十一條 當該官吏、第十七條ノ規定ニ依リ法令ニ依リ公務ニ從事スル職員ト看做サルル

者又ハ此等ノ職ニ在リタル者損害保險中央會ノ戰爭保險又ハ地震保險ニ關スル業務上ノ祕

密ニシテ職務上知得タルモノヲ漏泄シ又ハ竊用シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第四十二條 左ノ場合ニ於テハ損害保險中央會ノ理事長、副理事長、理事又ハ監事ヲ千圓以下

ノ過料ニ處ス

一 本法(第二十二條第三項ニ於テ準用スル保險業法ノ規定ヲ除ク)ニ基キ主務大臣ノ認可

ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二 本法ニ規定セザル業務ヲ行ヒタルトキ

三 主務大臣ノ命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

四 第三十九條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル損害保險中央會監理官ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ命ズル報告ヲ怠リ若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタルトキ

第四十三條 左ノ場合ニ於テハ損害保險中央會ノ理事長、副理事長、理事又ハ監事ヲ五百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ違反シテ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二 第二十二條第二項ニ於テ準用スル保險業法第九十四條第一項又ハ第九十八條ノ規定ニ依ル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

三 第二十八條ノ規定ニ依ル書類ヲ作成セザルトキ、其ノ書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ書類ニ付主務大臣ノ承認ヲ受ケザルトキ

第四十四條 左ノ場合ニ於テハ保險會社ノ取締役、監査役、清算人若ハ此等ニ準ズル者又ハ支配人ヲ五千圓以下ノ過料ニ處ス

一 第二十二條第二項ニ於テ準用スル保險業法第九十四條ノ規定又ハ同條ニ基ク勅令ニ違反シテ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二 第二十二條第二項ニ於テ準用スル保險業法第九十四條第一項、第九十八條、第四百條第三項、第四百十二條第一項又ハ第四百十六條ノ規定ニ依ル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

三 第二十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ基キテ爲ス主務大臣ノ命令ニ違反シタルトキ

四 前號ノ場合ヲ除クノ外本法(第二十二條第二項ニ於テ準用スル保險業法第一百一條第四

項及第二百二十三條ノ規定ヲ含ムニ基キテ爲ス主務大臣ノ命令ニ違反シタルトキ
一六
五 第二十二條第二項ニ於テ準用スル保險業法第百十二條ノ規定ニ違反シテ保險契約移轉
ノ手續ヲ爲シタルトキ

六 第二十二條第二項ニ於テ準用スル保險業法第百十三條又ハ第百十五條ノ規定ニ違反シ
テ保險契約、財産ノ處分又ハ債務ヲ負擔スベキ行爲ヲ爲シタルトキ

七 第三十七條第一項ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタルトキ
前項第三號及第七號ノ罰則ハ保險會社ニ付業務及財産ノ管理ノ委託アリタル場合ニ於テ其
ノ委託アリタル業務ニ付テハ管理ノ受託會社ノ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員又ハ支
配人ニ、業務及財産ノ管理ノ命令アリタル場合ニ於テハ保險管理人(保險管理人會社ナルト
キハ其ノ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員又ハ支配人)ニ之ヲ適用ス

第四十五條 本船保險組合第三十七條第一項ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ
タルトキハ其ノ理事長其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員ヲ五千圓以下ノ過料ニ處ス

第四十六條 第三十七條第二項ノ規定ニ依ル臨檢検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ五百
圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十七條 第十條ノ規定ニ違反シテ損害保險中央會又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用ヒタル者ハ
千圓以下ノ過料ニ處ス

第七章 雜則

第四十八條 本法ヲ朝鮮又ハ臺灣ニ施行スル場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ヲ以テ特別ノ定
ヲ爲スコトヲ得

附則

第四十九條 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第五十八條乃至第六十一
條ノ規定ハ昭和二十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五十條 政府ハ設立委員ヲ命ジ損害保険中央會ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第五十一條 設立委員ハ定款ヲ作成シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク出資ノ拂込ヲ政府ニ稟請スベシ

第五十二條 前條第二項ノ拂込完了シタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク其ノ事務ヲ損害保険中央會理事長ニ引渡スベシ

理事長前項ノ事務ノ引渡ヲ受ケタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ

損害保険中央會ハ前項ノ登記ヲ爲スニ因リテ成立ス

第五十三條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外損害保険中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十四條 登録税法中左ノ通改正ス

第十九條第七號中「帝都高速度交通營團」ノ上ニ「損害保険中央會」ヲ「帝都高速度交通營團

法」ノ上ニ「損害保険中央會法」ヲ加フ

第五十五條 印紙税法中左ノ通改正ス

第五條第五號ノ四ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

五ノ五 損害保険中央會ノ業務ニ關スル證書帳簿

第五十六條 戰時特殊損害保険法中左ノ通改正ス

第二條中「目的タル物ニ付」及「申込者ト」ノ下ニ「損害保険中央會又ハ」ヲ加フ

第五條中「損害保険ニ在リテハ」ノ下ニ「損害保険中央會又ハ」ヲ加フ

第七條及第八條中「保險會社」ノ上ニ「損害保険中央會又ハ」ヲ加フ

第十條及第十一條中「保險會社」ノ上ニ「損害保険中央會又ハ」ヲ加ヘ「戰時損害保険審査會」ヲ「損害保険審査會」ニ改ム

第十三條中「必要アリト認ムルトキハ」ノ下ニ「損害保險中央會」ヲ加フ

第十五條第一項中「必要アリト認ムルトキハ」ノ下ニ「損害保險中央會」ヲ、同條第二項中「所在ノ場所」ノ下ニ「損害保險中央會ノ事務所」ヲ加フ

第十六條及第十七條 削除

第十八條第一項ヲ左ノ如ク改ム

法人税法ニ依ル所得、營業税法ニ依ル純益及臨時利得税法ニ依ル利益ノ計算ニ付テハ保險會社ノ戰爭保險又ハ地震保險ニ關スル業務ニ基キ收入シタル金額ノ全部及第五條ノ損害保險ニ關スル業務ニ基キ收入シタル金額中命令ヲ以テ定ムル額ハ其ノ總益金ヨリ、保險會社ノ戰爭保險又ハ地震保險ニ關スル業務ニ基キ支出シタル金額ノ全部及同條ノ損害保險ニ關スル業務ニ基キ同條ニ規定スル事故ニ因リテ生ジタル損害ニ關シ支出シタル金額ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノハ其ノ總損金ヨリ之ヲ控除ス

第十九條中「必要アリト認ムルトキハ」ノ下ニ「損害保險中央會」ヲ加フ

第二十三條中「戰時損害保險審査會」ヲ「損害保險審査會」ニ改ム

第五十七條 前條ノ規定施行前成立シタル戰時特殊損害保險法ニ依ル戰爭保險契約及地震保險契約ニ基ク保險會社ノ收支竝ニ同法第五條ノ損害保險契約ニ基ク保險會社ノ收支ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第五十八條 損害保險國營再保險法ハ之ヲ廢止ス

損害保險國營再保險特別會計法ハ之ヲ廢止ス但シ昭和十九年度分ニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

第五十九條 前條ノ規定施行前成立シタル損害保險國營再保險法ニ依ル再保險關係ニ基キ損害保險國營再保險特別會計廢止ノ際政府ガ保險會社又ハ木船保險組合ニ對シテ有スル權利義務ハ損害保險中央會ニ於テ之ヲ承繼ス

前項ニ規定スルモノヲ除クノ外損害保険國營再保險特別會計廢止ノ際之ニ屬スル權利義務
ハ之ヲ一般會計ニ歸屬セシム

第六十條 第五十八條第一項ノ規定施行前損害保険國營再保險法ニ違反シタル者ノ處罰ニ付
テハ仍同法ニ依ル

第六十一條 前二條ニ規定スルモノヲ除クノ外第五十八條第一項ノ規定施行ノ際必要ナル事
項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム